

『 評 価 書 』

福島県立浪江高等学校

平成22年3月 学校評議員による評価

学校評議員による評価	学校からのコメント及び次年度に向けての方向性
<p>I 学校における自己評価活動の取組み</p> <p>I. 1 『学校経営・運営ビジョン』と校内組織体制について</p> <p>(適切な『学校経営・運営ビジョン』となっているか。適切な評価計画を立てて分かりやすく保護者等に提示しているか。リーダーシップのもとに評価活動が組織的な取組みとなっているか。教職員には評価活動が浸透し、積極的に推進できているか。)</p> <p>教育目標の2点に加え、大きな4項目に分類して具体的な目標が設定されており、取り組むべき内容が分かり易く設定されている。保護者全員に配付されており、学校との共通理解がなされている。入学時の早い時期から将来の自分をイメージさせて自己意識を持たせ、学習の先を目指した指導が見られ、進路を決めかねる生徒の希望・能力を引き出そうとする姿が見られる。教職員の評価活動は浸透してきていると思う。</p> <p>I. 2 『学校経営・運営ビジョン』の展開と自己評価について</p> <p>(『学校経営・運営ビジョン』をもとに、評価活動が学校改善に向かっているか。常に自己評価は全体の評価に連動し、評価活動が学校全体に展開しているか。)</p> <p>自己評価については、資料の表すところだと思う。生徒の街中での姿は、規律が良くなっていると思う。「授業の内容や進め方、分かりやすい授業の工夫、生徒の理解」についての評価では、教員と生徒の両者に高い割合で共通点が見られることは評価できる。改善すべき項目について検証を行い、全教職員で改善点を提案し合い、その中の最も実行可能な方法を選定し、共通意識を持って取り組まれたい。</p> <p>I. 3 広報とアンケート等について</p> <p>(学校から、生徒、保護者や地域の人々へ情報が提供され、学校課題を発見するためのアンケート等を行って、その公開に学校は責任を持ってあたるか。)</p> <p>ホームページや学校だより等で公開されており、良いと思う。アンケート内容は、それぞれの要求希望に基づいて答えが違うと思う。資料を外に出すということは、責任の表れだと思う。広報はネットの重要性が大きいと思う。学校のホームページに携わる担当者には申し訳ないが、もう一工夫お願いしたいと思う。</p> <p>I. 4 取組み状況全体について</p> <p>(学校の中に閉ざされた部分が残りに、生徒や保護者及び地域社会が困っていたりしないか。教職員の日々の活動が教職員の仕事の見直しと改善とにつながっているか。学校の特徴が生かされ、生徒や保護者の満足度は高くなっているか。)</p> <p>学校が閉ざされているのか開かれているのかは一概に言えない部分が多いが、町の外側にある学校の内側は資料の数字でしか分からない。もし可能なら、生徒の通学時間に合わせて、通学路とか電車での通勤を体験してはどうか。教職員が常に改善すべく目標を持ち、目標に近づくようにすれば、更に良い方向に向くと思う。</p>	<p>学校からのコメント及び次年度に向けての方向性</p> <p>「学校経営・運営ビジョン」については、学校評価委員会にて検討し、自己評価年間計画に従ってその都度自己評価を実施してきた。学校評議員全体会も年3回開催し、アンケート結果等をもとに状況の説明を行い、質問・意見をいただいていた。取組については評価いただいていると思われるが、更に組織的に評価活動を進めていきたい。</p> <p>保護者・生徒・教員へのアンケートを第1学期末と第2学期末の2回実施した。教員と生徒との意識のズレはまだ大きいものがあるが、昨年よりその幅は小さくなってきている。更に生徒理解を深める中で、全教職員で共通意識を持って改善に努めたい。</p> <p>保護者にはPTA総会や各種行事等の折に状況等の紹介を行い、各種たよりや新聞、会報等で情報の提供を行った。本校ホームページにも時宜を得た掲載を心掛けたが、更に分かりやすく見やすい内容や構成を工夫していきたい。</p> <p>保護者・生徒・教員へのアンケート結果や各部・学年・教科の年度末反省・評価から、目標達成不十分な項目や改善すべき事項についての確認ができた。常に改善すべく目標を持ち、改善に向けた方策を検討し、より良い学校づくりに活かしていきたい。</p>
<p>II 自己評価活動と学校評価全体への学校の組織的な取組みとその改善</p> <p>(生徒や学校・地域の実態を踏まえて適切な教育目標とその実行によって、わかりやすく保護者等に学校の活動全体を提示し、目標に向かって改善が行われ、次のビジョンへ展開しているか。)</p> <p>PTA会報や学校新聞、同窓会報等により、情報の公開は適宜行われていると思う。進路指導や特別活動についても、学校と保護者の意識共有のために、情報を提供されているものと期待している。教育目標をより多くの保護者に周知すれば、ビジョンは理解されやすくなり、改善の方向に行くと思う。</p>	<p>前年度末に一年間の実践についての反省・評価を行い、達成不十分な部分については、新たな方策を検討し試みてきている。目標を絶えず確認しながら、アンケートでの意見や学校評議員の方々からの提言等を謙虚に受け止め、次の具体的なビジョンにつなげていきたい。</p>
<p>III その他</p> <p>(地域社会との連携や、開かれた学校づくりについての更なる活動についてのアドバイス等)</p> <p>学校の事業に地域の団体が参加し、マスコミ等で広報できれば、浪江高校の地域での存在をアピールできるのではないかと。浪江駅から浪江高校までの通学路の道端が季節により雑草で覆われているが、時には町当局に清掃を要請したり、地域の区長にお願いしたり、また、生徒も時に参加したりといったことも、将来考えられたい。津島校は小さい学校ならではのきめ細かい指導が見て取れる。地域の大切な高等学校として、今後の更なる充実と発展を期待したい。</p>	<p>校内での授業を中心とする教育活動が中心となって、なかなか校外に目を向けることが少なくなりがちではある。インターンシップやボランティア活動、授業公開や公開文化祭等、地域社会と連携が必要な活動もたくさんあり、地域へのアピールに努めていきたい。</p>